

芸西病院だより



発行所
安芸郡芸西村
芸西病院
TEL 0887(33)3833

発行責任者
岩村 久
<http://okura-kai.com/geisei/>

新任のあいさつ

精神科医師
西本 大樹

はじめまして、令和2年7月1日より勤務をしている西本大樹と申します。6月まで勤務をされていた船槻先生の後任として関西医科大学より赴任しました。外来は金曜日を担当させて頂いております。さて、堅苦しい挨拶はこの辺までとさせて頂きまして、最近の私のプライベート（誰が興味あんねん）を少し紹介したいと思えます。今年の2月に入籍致しまして、単身赴任で高知県にやって参りました。人生の諸先輩方から「新婚の時間が一番楽しい、あとは下り坂。寂しがってもらえるのも今だけ。そのうち、もう一回どこかに単身赴任してきてって言われるよ(笑)」とよく言われます。そんなことをいつか妻に言われることがないように気を付けていきたいところですが、今のところはまだ妻も寂しがってくれ

ていると思います。先日、そんな寂しがりな？妻とペットシヨップに行きまして、一匹のトイプードルとビションフリーゼのmix犬（通称ビシヨプー）に出会いました。



これがもうたまらない可愛さで、「犬はいつかは飼おう、でも今はまだ時期じゃない」そう言っていた夫婦の気持ちがそのワンコを見つめているうちにグラグラに揺らぎました。ケージ内の犬を見つめる妻の瞳はいつかのアイフルのCM(古いですが)を彷彿とさせるぐらいの輝きでした。単身赴任で家で一人にしているし、大阪に戻っても職業柄当直などで家を空けることも多いし：ワンちゃんが家に来てくれれば妻の寂しさも軽減するだろうな。と様々なことを考えながら私もケージ内のワンコを見つめていました。5分以上見つめていたでしよるか、店員さんからの「抱っこしてみますか？」の悪魔の囁きが。抱くとダメですね、飼いたい気持ちへのブレーキが音をなして壊れていきました。そして、なんとこのワンコは私と同じ6月15日生まれました。これはもうたまたまの運命を感じ、この先20年弱は生きていくであろう小さな命を育てていくかどうかの意思を妻にも最終確認し、飼うことに決めました。ちなみに名前

は私が阪神ファンなので虎の一字を入れたくて、「虎麦」と書いて「こはく」と命名しました。最近我が家が増えた小さな家族共々これからもよろしく願います。つらつらと仕事と関係ないことを書いてしまいましたが、赴任期間中ご迷惑をお掛けすることも多々あるかと存じますが、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

		令和2年7月1日～											
		月		火		水		木		金		土	
内科	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午後
		山崎(第1)	岩崎(第3)	山崎	八木	清藤(第1-3)	八木(第2-4-5)	山崎	八木	大西(第1)	山崎	山崎	麻生
精神科	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午後
	野瀬	岩村	岩村	岩村	藤戸良輔	野瀬	三宅	西本	交代制(第1:3-5) 村上(第2)	交代制(第1:3-5) 村上(第2)	休診	休診	休診

芸西病院

予防接種の耳より情報

看護部長 角谷広子

新型コロナウイルスのみならず冬場に多い感染症の流行も懸念する季節になりました。

高知県は、インフルエンザ予防接種を65歳以上の方と、60歳以上64歳未満で慢性高度心・腎・呼吸器機能不全の方に対して無料と決めました。無料期間は12月までです。一方で国は接種の順番を決め、65歳以上の方は10月1日から、医療従事者・基礎疾患を有する方・妊婦・生後6カ月〜小学校2年生は10月26日からとしています。

感染性胃腸炎の中で乳幼児が罹患しやすいロタウイルスのワクチンは有効性が高いとされ、今年10月1日から定期接種に入りました。対象は令和2年8月1日以降に生まれた0歳児からです。それ以前に生まれた方は任意接種の継続です。皆様も健康に留意して、変わらぬ日常生活を継続してください。

Check!

令和二年度 永年勤続表彰者15名!

去る7月22日に行われた永年勤続表彰式では、勤続40年2名、30年2名、20年3名、10年8名合計15名の皆さんが表彰されました。今回はそんな受賞者が「長い勤務の間に大切にしてきた事・勤続年数を振り返り思うこと」を教えて頂きました。皆さん、こんな表情で働いています(写真撮影の時のみマスクを外しています)



40
外来 看護師長
看護師 小松 政子

40年の間「誠実に」という気持ちを持って仕事を



「美味しい」と感じ、モクモク食べて笑顔で健康に過ごすことを大事にしてきました。協力し合える仲間に恵まれ家族の理解や助けがあつて40年間働くことができました。



40
3B病棟
准看護師 田村 妙子

それぞれの季節の美味しい物を



30
副院長
医師 山崎 一明

平成元年に30歳で勤務を始め、昨年は還暦を迎え老医の仲間入りもしました。皆様を支えられての勤続30年を嬉しく思いながら、これからもよ



30
グループホーム
介護補助者 細川 保子

介護の大変さも知らず入職、病院から始まり現在のグループホームまで30年、よく頑張ったと自分にエールを送っています。楽しく働かせて頂いていますがまだまだ未熟、研鑽の毎日です。

良い医療を提供できるように努力してまいります。よろしくお祈りします。



20
施設管理課
連絡・運轉手 川崎 和彦

平成11年11月より勤務させて頂いています。安全に



20
やわらぎデイケア
介護福祉士 宇田 由紀

この20年で家族が増え、生活が大きく変わりました。

利用者の皆様が笑顔で過ごせるようこれからも務めていきたいと思ひます。



20
やわらぎ1階 介護主任
介護福祉士 田淵 仁美

長いようであつという間でした。沢山の辛い事もあ

清潔で快適なひと時を！と頑張っていますが難しいものです。口下手で説明不足もあつたりと皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと思ひますが、今後ともよろしくお祈りいたします。



10
2B病棟 主任
看護師 小崎 あき

入職してあつという間に10年。沢山の職員に支えて頂



10
グループホーム
介護福祉士 茂井 敦子

利用者さんと家族のよう過ごすことを大事に介護の

人に伝染し幸せにする力があると言われてるように、逆に患者さんから元気を頂くことも少なくありません。今後地域に根差したこの場所でも頑張っていきたいと思ひます。



10
リハビリテーション部
理学療法士 佐藤 裕佳

人を敬う心と笑顔を大切に働いてきました。笑顔は



仕事をしてくれてあつという間の10年。自分でも驚いています。頑張つてこれたのも周りの方々の支えのおかげだと思ひます。改めてありがとうございます。



この仕事を
をはじめ、
ここでの勤
務期間が一
番長くなり

ましたが、入職した時から変
わらず気をつけているのは忙
しい時こそ笑顔で落ち着いて
行動するという事です。これ
からも入居者の笑顔を引き出
せる介護を目指していきたい
です。



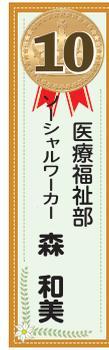
勤続10年。
その間、リ
ハビリも新
しい職員を
迎えるなど

して人を含めた光景の変化を
感じます。個人としては「医療
はサービス業」という思いが
年々強くなっている感じがし
ます。



患者さん
とのコミュ
ニケーションを大事
に！一日一

日を無事に終わるために集
中!!



新卒で就
職して10年
になりました
た。年月を
追うごとに

体調管理、体力の維持が課題
となっております。これからも
健康第一に頑張っていきたい
と思います。



これから
も美味しい
給食を提供
していける
ように努力
していきます。

していきます。

芸西病院での1年間をふりかえって
精神科医師 船楓 紀也



2019年6月25日未明、
大阪府枚方市を出発しまし
た。とても遠いところへ行く
気持ちが高まっていたのか、
早くに出発してしまい、午前
6時頃には南国市内を車でド
ライブしていたことを今でも
思い出します。高知県、芸西
病院での1年間はあつという
間に過ぎ去っていききました。
高知県の印象はご飯とお酒の
美味しさが真っ先に浮かびま
す。幸いなことにたくさんの方
々との縁ができ、飲み会も
いっぱいさせて頂きました。
任期後半は新型コロナウイルス
感染症の影響で自宅待機状
態が続いたことが残念でした
が、印象に残るもう一つは根
っからの運動嫌いの僕が高知

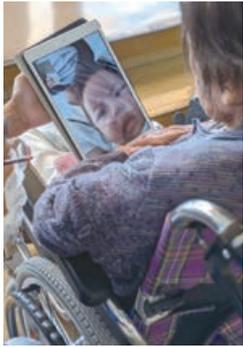
てられ、妻は完走、僕は30km
地点リタイアとなりました。
小学校の長距離走での「一緒
に走ろうな」は大半が嘘であ
ったことを大人になってもま
た思い出しました。雨天であ
り、せつかくの景観も楽しめ
なかつたので、またいつか参
加できたらいいなと思ってい
ます。芸西病院では、たくさ
んの患者さんと関わらせて頂
くことができました。特に入
院患者さんとゆっくり話をす
る機会が多かったと思いま
す。関西医科大学に戻ってか
らは、入院設備のない本院で
の勤務となり、元々僕が専門
としたいリエゾン・緩和医療
が主体となります。今後、自
分の受け持ち入院患者さんと



関わる機会はどうどん減って
いく中で、とても貴重な時間
になりました。また、診療に
関して、いつもご指導頂いた
岩村院長、山崎副院長はじめ
各先生方には感謝申し上げます。
大阪への帰路も同じよう
に車ですが、高知県でのたく
さんの経験と思い出の分、来
るときよりも時間が長く感じ
るでしょうか。ゆっくりと時
間が流れる感覚に慣れた分、
帰阪初日から新幹線通勤をす
ることこのギャップにしばら
くは苦労しそうですが、今後
とも精進していきたいと思い
ます。末筆ではございますが、
芸西病院関係者皆様のご健康
とご多幸を祈念し、また1年
間の感謝を申し上げます。

オンライン面会を始めました

教育看護師長 田村 文佳



新型コロナウイルス感染症予防のため、9月1日現在のところ、芸西病院ではいくつかの条件付きの面会とさせていただきます。しかしながら今後、感染状況により面会制限はより厳しく変更することがあります。そこで、直接面会できない方のために、タブレットを使用したオンライン面会も始めました。「タブレット」「オンライン」というのは、聞き慣れない言葉かもしれませんが、「画面が大きい携帯電話で、テレビ電話をする」ということです。今のところ病院に来ていただいて、対面での登録を基本としていますが、携帯電話をお持ちでなくても、当院にある2台のタブレットを用いてテレビ電話ができます。

まだ始めたばかりで、試行錯誤をしているのですが、実際にオンライン面会をされた方は、ご本人・ご家族ともに笑顔になられています。窓ガラスを隔てての面会では、目の前にご家族がいるのに、触れることができないもどかしさを感じましたが、テレビ電話では、久しぶりに会うお孫さんの顔がタブレットに大きく写ったり、声がしっかり聞こえたりすることで、患者さんの表情が明るくなり、優しい顔になるという貴重な時間を、私たち看護師も一緒に経験することができました。



3密を避け、人と人の距離を保とうと言われている今、私たちが大切にしないといけないのは、感染予防だけではなく、患者さんとご家族の「心をつなぐ」ということです。オンライン面会をその一つの方法として、これからも活用していきたいと思っています。

コロナに負けず楽しみました！病棟の夏祭り

夏祭りに参加して

2B病棟看護師

小田 邦子

入職してはや4か月、月日が経つのが早いと感じながら日々適進しています。今年はコロナ感染症の対策により、院内のほとんどの行事が中止になっている現状でしたが、「患者さんに少しでも季節を感じてもらい、楽しい思い出となるようなイベントがしたい！」というスタッフの思いもあり、今年は規模を縮小して「夏祭り」が開催されることになりました。開催にあたり、事前に入念な打ち合わせが必要で、食材の準備、患者さんの嚥下状態の把握や、配置の段取り等々、OTが中心となって、多職種が関わる一大イベントとなりました。患者さんの記憶に長く残ることは難しくても、楽しいことや美味しかったこと、心地よい時間を過ごすことができたのではないかと思います。いつもは見られないような笑顔が見え、いつもより食欲が



沸いてきて沢山おかわりされたり。そんな患者さんの表情や反応から、私たちが夏祭りを開催したかった思いが伝わっているようで感動しました。また病棟業務が忙しい中でも病棟スタッフが丸となり、こうして心に残るイベントに参加することが出来、感謝しています。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



3Bの夏祭り

3B病棟准看護師

平石 竜之介

僕が就職して初めての病棟での行事として夏祭りが行われました。患者さんたちは前日から「明日夏まつりでね」「何時から?」「何するが?」と質問があり、すごく楽しみにしていることが伝わってきました。皆さん笑顔で楽しそうに参加されており、風船渡しゲームでは参加予定だった患



者さん以外の人たちも「やりたい!」と言って下さり、始めは「やりたくない」と参加を拒否していた方まで笑顔でゲームに参加してくださいました。学生さんの出し物では患者さんも一緒に音楽に合わせて鳴子を鳴らしたり、リズムに合わせて手拍子をしたりして楽しんでいました。アイスを食べている最中は皆さん「美味しい!」と一番の笑顔を見ることができました。今までは学生側としてしか行事に参加することがなく、患者さんと接する期間が短かったのですが、患者さんが本当に楽しむことができていたのか解らないことがありました。でも今は患者さんと接する時間が多くなり、患者さんが行事をどれだけ楽しみにしているか、また楽しまれているかが解るようになりました。これからも患者さんが笑顔で楽しめる様な行事が出来るようにしていきたいです。

リレーエッセイ No.63
「コロナ禍の癒し」
 医療相談室
 ソーシャルワーカー 栗坂 晋治

僕の普段の癒しといえれば何と言ってもライブ鑑賞とカラオケでの熱唱です。ライブもカラオケも大声で叫び、拳を突き上げ、ジャンプしながら楽しむのが最高です(^^)
 しかしながら、このコロナ禍でライブにもカラオケにも行けない日々がもう半年以上続いています。そこで、今の僕の心を癒してくれることを2つ紹介したいと思います。



フチガーデニング、癒されます

一つはフチガーデニングです。今まで育ててみたのは、大葉とバジルです。僕のアパートのベランダでもプランターで簡単に育てることがができます。毎日水やりをする時に育っているのを見るのも楽しみですし、大葉もバジルも摘み取るとハーブ系のいい香りがして癒されます。
 そして、僕の癒しをもう一つ♪それは音楽鑑賞です。

比較的最近買ったCDを一枚紹介したいと思います。森恵という歌手の「COVERS 2 Grace of The

Guitar」です。この女性シンガーは歌がめっちゃくちゃパワフル、そしてギターも凄く巧くて、楽曲のアレンジもカッコいいです。収録曲も宇多田ヒカル、絢香、秦基博、玉置浩二などのカバー曲が収められ、ロック調・フォーク調など様々なアレンジがされており、老若男女が楽しめるアルバムだと思います。特に井上陽水の「氷の世界」のアレンジが最高です。もしよかったら聴いてみてください。音楽は心を癒してくれます。CDや映像もいいですが、やはり早く生でライブ鑑賞ができ、カラオケを大声で歌える日が来ることを願っています。



昨年ライブに行った時に買ったサイン

第3回
「秋の一冊」
 『いとしいたべもの』
 1階内科病棟 看護師 角谷 由美子



発行：2014年 文藝春秋
 著者：森下典子

『いとしいたべもの』を見ながら、初めて「サッポロ一番みそラーメン」を食べてたちまち夢中になりました。その頃はインスタントラーメンの新商品が次々に登場し、テレビで盛んに「コマーシャルが流れていました。このエッセイを読んで当時の記憶が蘇った母の希望で、我が家のインスタントラーメンはそれまで違う銘柄のものを購入していたのに「サッポロ一番みそラーメン」に取って代わりました。

著者が小さかった頃、自宅に下宿していた大学生、田島さんの好物は、著者の母が作る醤油ラーメンでした。豚の挽肉を醤油で煮て数日寝かせたスープをのびし、乾麺を茹で、ほうれん草、シナチク、鳴門、ネギを載せたシンプルなお醤油ラーメンです。大学を卒業し、実家の旅館を継ぐため北海道に帰って行った田島さんはそれから数々の試練に見舞われて音信不通となっていました。ところがある日突然、仕事でこっちに来たので寄ってみたいと訪ねてきた田島さんに、母はあの醤油ラメ

ンを作りました。麺をすすって激しく咳き込んだ彼の頬は涙で濡れていました。両親はそんな彼の心中を慮って、笑顔で気づいていないふりをし、高校生になっていた著者も慌てて大袈裟に箸を上げ下げし、ズーツとラーメンをすすりました。今でもラーメンをすするとすると、不意にあの日の思いが蘇ってくるそうです。

著者が言うように、「たべもの」の味にはいつも、思い出という薬味がついている……。」のかもしれない。世代の違う私が読んでも、まるでタイムスリップして著者の子供時代を覗いているかのような錯覚を覚えるほどの生き生きとしたエッセイです。随所にちりばめられている著者、森下さんの素敵なイラストも必見の一冊です。



やわらぎ通信

リゾートビルやわらぎ
運営理念

その人らしさを尊重し
人と人とのつながりを大切に
明日につなげるケアをめざす

ノーリフトケア研修に参加して

理学療法士

宮地隆史

みなさん、「ノーリフトケア」と聞いてどういふことを思い浮かべますか。現在、医療職に従事しているスタッフの7割以上の方が腰痛で悩んでおり、腰痛増悪で休職や離職することもあられる大きな問題となっているのです。当施設でも腰痛持ちの方が多く、私も相談を受けることがあります。痛み止めを飲む、マッサージ的なことで筋を整えるなど、一時的な痛みの緩和は図れますが、根本的な腰痛解決とはなりません。日々誤魔化しながら仕事をこなしている方が多いと思います。この問題に対して、当施設でも腰痛委員会を立ち上げて、腰痛対策に取り組んでいます。

このノーリフトケアは「抱え上げない、持ち上げない、引きずらない」を理念とし、利用者と職員の両者が安心して生活、業務ができる環境づくりを進めていくものです。研修でも、ベッド周りや入浴の介助時の姿勢の話がありました。みなさんはご存知ですか。立った姿勢で腰椎にかかる負荷を100%(仮に60kgかかるとする)とした時、中腰になっただけで1.5倍(90kg)。そこから荷物を持つと2.2倍(132kg)以上の負荷が腰にかかっているのです。また、座った姿勢でも1.4倍(84kg)と、立っている時よりも腹筋を使わないので、腰へ負荷は大きいのです。これ

はあくまでもその姿勢をとっただけでの話です。実際はこの姿勢で作業を行っているので、さらに体に負担をかけているのです。思い当たってきませんか。ノーリフトケアには、福祉用具の利用や介助方法をマスターするというだけでなく、業務中に危険と思う箇所や行動を共有し改善していく、自己管理(睡眠時間の確保、動きやすい服装、体重管理など)といった様々な要素がこの言葉には含まれています。日々、みなさんは対象者の安全を主軸に職務を行っていると 생각합니다。その安全を安楽に行う為にもノーリフトケアという考え方を共有して実行していくことが腰痛予防に繋がってくるとこの研修を通じて思いました。

最後に、これも対策の一つになると 생각합니다。仕事中に履いている靴です。サンダルや何年も履きこんだ靴で仕事をしていませんか？動作をする時、足元が安定していないと力も入りにくく、不安定な姿勢のまま活動を行い続けると体の一部にかかる負荷も大きくなります。腰もその一部です。靴のサイズが合ったものを選ぶことも大切な腰痛予防です。



生け花クラブ発足しました。



介護福祉士 有澤 真吾

今年の6月より新しく生け花クラブが発足しました。月1回の頻度で担当職員とご利用者とで開催しています。

ご利用者は、経験者の方ばかりで、「本を読んだり、テレビで見たりと勉強はしているが、実際にやるとまだまだいかん。勉強せんといかんね」「小さい頃に習っていたけど、今またやると楽しいね」などと話されながら、真剣な表情で花を生ける位置やバランズ等を何度も確認されて生けられています。対して職員は、「もっと切らないかん」「あんまり動かしたら全部おかしくなるで」とご利用者

からご指導いただきながらも、初めての挑戦で四苦八苦。結果、綺麗な生け花にはほど遠い仕上がりととなっております。

完成した生け花は、各部署のテーブルや正面玄関に展示しており、残念ながら参加できなかったご利用者も



花を眺めて楽しんでくれています。「花の名前は何？」とのご質問には、虎の巻を見ながら答えています。お陰様で花の知識が増えそうです。そういうえば、完成した生け花を見て心を動かされたのか、今回は男性ご利用者も参加してくださいました。



芸西村福祉避難所 防災倉庫

パーテーション、簡易ベッド、発電機など



『ウイズコロナ対応&利用満足度 アンケート調査報告』



施設長 中本 雅彦

私たちの日常生活・業務におきまして新型コロナウイルス感染症予防策に追われる毎日から、最近では「新型コロナウイルス感染症予防策と共に」があたりまえのこととなりました。インフルエンザシーズンを目前に、年間通して感染対策が施されることとなりましたことはプラス評価できると思います。しかしながら施設や病院を利用されるご利用者ご家族・知人の方々との関係性・つながり・生活部面の多くは「非日常」であるという認識をもつことは私たちケアするものにとりまして重要となります。面会等制限を継続せざるを得ない状況が続く、これまで当然としていた人と人との直接的な関係・つながり(会話や接触などコミュニケーション)が制限され、ご家族の皆様には不安を抱えご心配されている方が多くおられます。そして何よりも懸念されることはご利用者のメンタルヘルスとなります。病院施設を利用しながらも孤独を感じ、心身の不調や認知症の進行をきたすことの無いよう、私たちはお一人お一人に丁寧に向き合い寄り添うことが大切です。

当施設では、5月からリモート面会(テレビ電話)を導入し、ご利用者ご家族皆様をつなぐ新たな方法を模索しています。新型コロナウイルスへの薬剤開発の期待もありますが、ウイズコロナ、新しい生活様式を基盤とした中で、人の尊厳が保たれる施設運営・在宅支援の在り方を、今後も皆様のお知恵をお借りして考え実践していきます。

さて、ご利用者満足度アンケート調査につきましてご報告させ

ていただきます。今年のアンケートは7月下旬より配布させていただきました8月下旬をめぐにご回答いただきました。入所(短期入所含む)ご利用者四十九名(回収率七十八%)、通所ご利用者三十八名(回収率六十七%)の方々にご協力をいただきました。ご利用のところが誠にありがとうございました。

満足度結果につきましては次のページより円グラフにて掲載しています。また設問項目以外となるその他のご意見ご要望等の欄につきましては、レクリエーションや送迎・入浴・接遇などについて感謝の言葉をはじめご意見ご要望をいただくことができません。詳細につきましては全て施設内へ掲示公開させていただきます。ご来場の際にご確認いただければ幸いです。(現在面会制限中にてご家族様には少しの期間お待ち下さい)

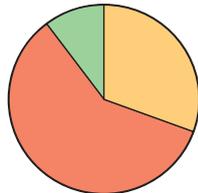
他方、やわらぎのサービス向上満足度アップ・ご利用者の権利を擁護することを目的に、施設法人職員外の第三者(中立的)となる「介護相談員さん」にご協力をいただいています。月に1回・第3木曜日の午後を定例として芸西村民生委員児童委員協議会のご協力の下、民生委員さんにお越しいただいています。施設内をラウンドしていただき、職員の接遇からケア内容について第三者から見た気づきと、またご利用者に直接お声がけいただいているご意見ご要望の聴取など、サービス向上に向けての取り組みがあります。窓口は相談室となりますのでお気軽にご利用下さい。

満足度アップに限り無し向上あるのみ、目指すところは苦情ゼロ施設と考えます。そのためには多種多様な人の在り様を尊重・個別化し、あらゆる手段を用いてご利用者の要望・希望・声に耳を傾けることをすべての職員が大切にしなければ!理想ではなく人にかかわるプロとしての基本原則、実践すべしです。

満足度アンケート 入所

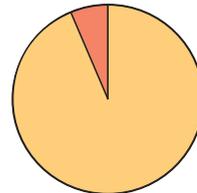
1 やわらぎの中はいつもきれいですか

- とともきれい
- きれい
- ふつう
- きれいといえない
- わからない



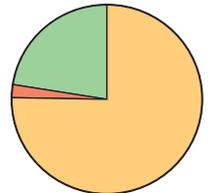
2 職員は気持ちよく挨拶していますか

- いつもしている
- 時折している
- していない
- わからない



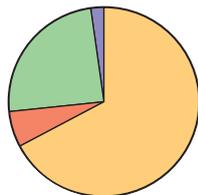
3 職員に清潔感がありますか

- 清潔だ
- 清潔ではない
- ふつう
- わからない



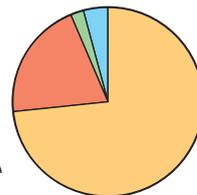
4 ご利用者の髪・衣服など身だしなみが整っていますか

- 整っている
- 整っていない
- ふつう
- わからない



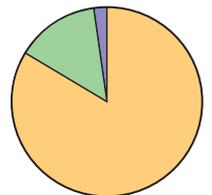
5 職員のことばがけや接遇全般に満足していますか

- 十分満足
- やや満足
- やや不満
- 不満
- どちらともいえない



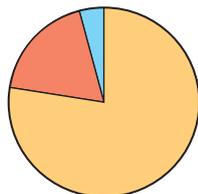
6 職員から日頃の経過説明・ケアプランなど、わかりやすいですか

- わかりやすい
- わかりづらい
- ふつう
- わからない



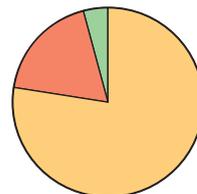
7 日頃の介護・お世話を満足していますか

- 十分満足
- やや満足
- やや不満
- 不満
- どちらともいえない



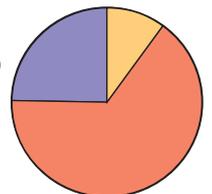
8 ご利用者の病気・健康面について十分知っていますか

- 十分知っている
- 少しは知っている
- 知らない



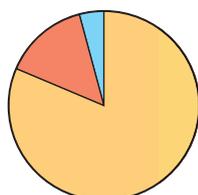
9 利用料金・費用負担について

- 高い
- 適当(ちょうどよい)
- 安い
- わからない



10 やわらぎを利用して満足していますか

- 十分満足
- やや満足
- やや不満
- 不満
- どちらともいえない



満足度アンケート 通所

